

議会だより



# なかさつない



『早く順番こないかな〜』（中札内小学校『中小まつり』）

<b>第2回臨時会、第3回臨時会</b> .....	P 2 ~ 3
<b>9月定例会</b>	
決算審査 .....	P 4 ~ 7
条例改正・補正予算 .....	P 8
一般質問 ～4人の議員が登壇～ .....	P 9 ~ 11
<b>議員活動、編集後記、お知らせ</b> .....	P 12

# 保育料無償化に係る条例改正等可決

第2回  
臨時会

8月5日(月)開会  
会期 1日  
審議案件 議案6件(原案可決)

## 条例改正

※主な質疑を掲載

### ◆中札内村認定こども園条例の一部改正

### ◆中札内村へき地保育所条例の一部改正

### ◆中札内村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

国のこども子育て支援法の一部を改正する法律の施行に伴い、保育園に入園される3歳以上の全てのお子さんと、市町村税非課税世帯に属する3歳未満のお子さんを対象にした保育料の無償化、副食費(給食のおかずやおやつ等)の実費徴収が10月1日から施行されます。

本村においては、保育料の第2子半額、第3子無償化をすでに他の自治体より先行して行ってきましたが、国の進める無償化の範囲を拡大し、新たな子育て支援施策として、全ての園児を対象とした保育料並びに副食費の無償化を行うため、現行条例の一部を改正するものです。



きらきら保育園 食育事業の1コマ

**問** 無償化による児童数の増、出生数の増を期待するが、それらの見通しは。

**答** 村だけではなく日本全体が人口減少、子どもの数が減ってきている。いろいろな面で子どもを産み育てやすい環境づくりを一生懸命やっていかなければならない。

**問** 副食費の無償化による国と村の負担額は。

**答** 10月以降の負担額は、国の免除対象者分で29万7千円、対象者拡大による村の負担額は、199万8千円となる。

## 財産の取得

### ◆グランドピアノ等購入

文化創造センターに配置するグランドピアノを購入するもので、ファツィオリジャパン株式会社と1960万7500円で随意契約し、取得するもの。

**問** 弾きならしに約3ヶ月必要とあるが、その期間の対応と村民への視聴の機会は。また、現在のピアノの活用は。

**答** 村に関わりのあるピアニストに試弾いただき、相談する中で村民への視聴も検討したい。なお、現在のピアノは中学校で活用する。

**問** イタリアのグランドピアノで、十勝・北海道ではじめて導入となるが、特徴や選考理由は。

**答** やわらかく魅力的な音を出すことができるフルコンサートピアノを選考した。

選考のポイントは、ホールの規模に合うもの。メンテナンスの対応。村の象徴・話題性・注目度。プロ・アマの方が懂れ、喜んでもらえるものとして選考した。



## 補正予算

※主な内容と質疑を掲載します。

### ふるさと納税 順調な伸び

〇歳出

ふるさと納税費 1億3354万円

ふるさと納税の寄付見込み額を2億7555万円と推計したことにより、返礼品にかかる報償費・手数料・委託料等の経費を追加するもの。

**問** 目標額を大きく増額したのは、順調な状況をふまえて余裕を持ったということか。

また、返礼品の中で肉類の人気があるようだが、供給体制は大丈夫か。

**答** 昨年度は4回の補正となり、11月からの年末に向けた寄附の伸びを考慮して計算している。また、供給については業者との連絡を密にして対応している。

**問** ふるさと納税のうち経費にかかる割合は。

**答** 返礼品は3割で事務賃金や郵送料などの経費が2割となり、残り5割が寄附者の意向にもとづいて基金に積むことになる。



返礼品で人気の肉類

# 新庁舎建設工事費増額について慎重審議

第3回  
臨時会

8月16日(金)開会

会期 1日

審議案件 議案1件(原案可決)

補正予算

※主な質疑  
を掲載

総務管理費

庁舎建設事業費

1億4818万8千円

建設主体工事・電気設備工事・機械設備工事において、労務費及び資材費の上昇、鉄骨工事の開口部、屋根形状の変更、非常用発電機、汚水槽、さく井施設の追加整備により、庁舎建設事業費に不足が生じることから追加するもの。

住民理解は得られたのか？

**問** 実施設計を終え建設費が大幅に予算オーバーとなり、住民説明会や情報宅配便では、増額に対し理解が示されていないのでは。

住民意見をどのように受止めているのか。

**答** 全ての意見が増額に対して、理解が得られていないとは認識していない。ただ、情報の開示の仕方・時期など反省すべき点はあると認識している。

増額になった具体的要因は？

**問** 増額の理由は労務費と建設資材高騰とされているが、国土交通省が公表しているアップ率は3%程度でさほど高くない。物価上昇による増額の試算の状況は。

また、災害用発電機が追加されているが、抜けていた理由は。

**答** 上昇部分は、建築主体工事で4870万円、機械設備で480万円、電気設備で300万円、全体で5650万円余りで約12%となり、見積り等を取る中で実際の市場価格で算出している。

発電機は、基本設計時点で必要となる電源量が見込めなかったことにより、実施設計で盛り込んだものとなる。

ヒートポンプ等機器類の耐用年数は？

**問** ヒートポンプの耐用年数は60年で、30年間で初期投資が回収できるとあるが、機器類の耐用年数は。

**答** コンプレッサー機器が10年となっており、更新費用は220万円程度かかるが、ボイラー等の機器でも更新が必要となることから、比較をしたうえで採用を決めている。

設計業者との協議は？  
今後の工事管理委託は？

**問** 設計業者から大幅に増額になったことに対する説明はあったのか。また、村として積算の甘さに対する対応は。

村の精査により減額した金額は。

**答** 道単価及び見積りによる設計額で、資材等高止まりの状況にある説明は受けたが、なぜこうなったかということについては強く詰問している。

実施設計の内容を精査して、約4100万円あまりを減額した。

**問** 工事管理委託は、設計業者になるのか。村の技師と受注した業者の技師で対応できないのか。

**答** 現実問題として、工事管理は、他の業者や職員と施工する現場管理の職員との連携で、困難だと認識している。

**提言** 設計業者との関わり方や住民に対する情報の開示の方法など、反省すべき点がある。

今後は建設に向けて最善を尽くされたい。

◎ 討論

【反対討論】

大和田 彰子 議員

事業費増加の要因は、基本設計がまとまった段階で、概算事業費を精査することなく実施設計が進められたことによるもの。

住民への情報提供も不十分な点が多く、住民理解に至っていない。

質疑に対する答弁内容では理解するに至らず、本議案に対し反対。

【賛成討論】

黒田 和弘 議員

建設後51年が経過し老朽化している庁舎は、耐震基準も満たしていない状況であり、熊本地震後の巨大地震を想定した国の交付税措置による財政支援を活用した建設で、地中熱導入工事も今年度中が期限となることから建設促進を強く求めてきた。

増額の要因についてもこの間の特別委員会で説明を受けており、理解をするところである。

村も理解活動をされていたと認識しており、本議案に賛成。

北嶋 信昭 議員

特別委員会を14回実施し、色々と検討してきた結果であり、本議案には賛成するが、村として設計が甘かったことを認め、言い訳ではなく、建設までの時間はあることから、住民に十分理解していただき、皆さんに喜んでもらえる庁舎にしていきたい。

◇ 起立採決

賛成者多数により  
原案どおり可決

# 策の効果審査

平成30年度一般会計の歳入決算は、前年度比19・73%増の55億3268万9千円となり、歳出についても前年度比20・9%増の53億6261万4千円となりました。また、新庁舎基本設計、産地パワーアップ事業の機械導入事業などの翌年度繰越額は1億2922万円です。

## 決算審査

## 令和元年9月 村議会定例会

9月定例会は、9月3日に招集され、会期を13日までの11日間と決定し、3日には意見書1件、報告2件、議案6件を審議・可決しました。

また、平成30年度各会計決算の認定6件については、9日と10日の2日間、本会議で審議され全て認定されました。

13日は、追加議案4件を可決し、一般質問では4人の議員が質問を行い閉会しました。

### 総務費

#### 新電力導入効果は

**問**

新電力が導入された施設数と削減効果は。また今後の予定は。

**答**

平成30年度に高圧電力に係る11施設に導入している。削減効果は、年間で290万円余り。低圧電力は撤退する業者も出ており、見極めながら検討する。



### 総務費

#### 地方バス路線維持対策補助金の負担増

**問**

毎年補助金額が、百万円単位で上がっていることへの対応は。また南十勝の町村の負担割合はどうなっているのか。

**答**

平均乗車密度で国からの補助金が算定され、町村の路線キロ数で按分している。中札内村の負担は10%。国や道に対し強く要望を行いながら、路線維持に向けた対応をしている。



路線維持は不可欠だが負担額が増加

### 総務費

#### ふるさと納税増加

**問**

ふるさと納税が徐々に伸びているが、寄附金の最高額と返礼品は。またポータルサイトの登録先と利用が多いサイトは。

**答**

寄附金は10万円を超えるものが1件で、休暇村のグランピングを利用された。ポータルサイトは、「ふるさとチヨイス」、「楽天」、「さとふる」の3サイトに登録しており、「ふるさとチヨイス」が49%で利用率が一番高い。



ふるさと納税返礼品の例

### 総務費

#### まつり振興補助金 限度額の見直しは

**問**

村民盆踊り大会が盛大に開催されているが、今後も長く続けるためには補助金の限度額を上げてはどうか。

**答**

係る経費の全額を村が負担するものにはならない。近隣町村の状況も参考にしながら、拡大すべきかを検討したい。



年々参加者が増え盛り上がりを見せている

### 議会用語豆知識 ③

#### 決算認定 とは？

議会が、一会計年度の歳入歳出予算の執行実績である決算について、その内容を審査した上で、収入・支出が適法かつ正当に行われたかどうかを確認するとともに、各種資料に基づいて、その行政効果や経済効果を測定し、当該年度に何が達成されたかを住民に代わって審査すること。

審査の結果は後年度の予算編成や行政執行に活かされるように行政に働きかける。

チェック



# お金の使いみちと施

歳入・歳出増の主な要因は、村民プール建設分の地方債の繰上償還3億9168万円や畜産クラスター関連事業3億9750万円のほか、多目的運動施設整備工事などがあつたことによるものです。基金残高は一般会計と特別会計を合わせて38億430万円で、前年度より3億6139万円余り減少となりました。

また、地方債残高は41億1524万円で、前年度より4億1217万円の減少となりました。

なお、決算認定審査での質疑の主なものを掲載します。

民生費

## 委託料増加の要因は

**問** 生活支援ハウス運営事業委託料が増額となった理由は。

**答** 施設全体の給食を外部委託したことによるもので、昨年まで、支援ハウスの給食は恵津美ハイツに含まれており、単独で取扱っていたため。



民生費

## 障がい児・障がい者の就労・通所支援は

**問** 通所者8名、児童の通所利用3名とあるが、更別のクローバーハウスの利用はあるのか。

**答** 村内事業者と帯広になり、更別の利用はない。村内にも事業所が増えてくれることを願っている。児童については、大正地区や帯広市内を利用している。グループホームに入所されている方の就労支援としては、村の軽作業を行っている。



民生費

## 慈弘会への補助金

**問** 人工透析の機器更新のため、慈弘会（大樹町・森クリニック）に対する補助金は単年度限りか。また、村の利用者数は。

**答** 補助金は単年度で、今後の更新には対応しないことで事業者にも話がされている。村からの利用は過去に1人いたが、現在はいない。



衛生費

## 妊産婦検診等交通費助成

**問** 前年と比較して減っている要因と申請もれ等はなかったのか。

**答** 22名に交付しており、申請もれはない。28名分として予算計上していたが、途中転出などで利用回数が半分程度の方が多かったため。



衛生費

## 有害鳥獣駆除状況

**問** アライグマが増え、市街地周辺で芋に爪痕があつた話も聞か、もっと駆除を強化すべきでは。

**答** 今年度の捕獲は3頭で、増えてきていることから、箱わな10基を購入し対応している。

**提言** 繁殖力が高く天敵が居ないことから、駆除に全力を尽くされたい。



アライグマによる被害が増えている

衛生費

## 労働雇用対策事業効率的な運用を

**問** 労働雇用対策事業と冬期雇用対策特別事業は補助事業なのか。冬場は作業環境が悪くなり、効率が悪いのでは。

**答** 2つの事業とも村の単独事業となり、冬期間の仕事のない時期に提供しているが、業務内容については検討したい。

# 主な決算質疑

平成30年度  
決算審査

農林業費

## 牧場管理委託料の増額要因は

**問** 委託料は、牧場使用料で賄えるのが理想だが、近年、委託料が増額しているのでは。また、老朽化による施設や機械の更新に多額の予算が使われているが、委託料と使用料の関係について酪農家と協議しているのか。

**答** 昨年10月から委託先が変更になったことにより予算が増えたが、新年度からは落ち着くと思われる。経常経費については、使用料で賄うという認識は指定管理者にもあり、見直しについても協議をしていきたい。



農林業費

## シストセンチュウ対策の徹底を

**問** 馬鈴しょ・ビート運搬車両のタイヤ洗浄は徹底されているか。また確認はしているのか。村内の運送会社には運搬が始まる時期に、

**答** 洗浄の徹底を呼びかけているが、状況確認はしていない。

**提言** 発生すると種芋農家ははじめ農家の打撃は大きい。村以外からの運搬もあり、関係町村にも洗浄の徹底を促すべき。



タイヤ洗浄して施設から出る運搬車両

農林業費

## 就農支援資金のPRを

**問** 担い手育成センターの就農支援資金のPR方法と貸付状況は。平成30年度の貸付実績はない。村単独のPRは取組めていない。

**提言** 農業後継者になれば返済免除になる有利な制度であり、PRを徹底されたい。



農林業費

## 森林環境譲与税の活用は

**問** 市町村で譲与税活用に向けた基本方針の策定と公表が義務付けられているが、村の対応は。

**答** 森林経営管理法が施行され、管理されていらない私有林に環境譲与税を活用し、整備することになる。

今後、対象者八十数名に対し調査を行い、基本方針の策定を進めたい。



土木費

## 農村部の公営住宅改修の考え方は

**問** 市街地と農村部の風呂改修の仕方が違う理由は。また、風呂・トイレの窓が木製のままで、改修しない理由は。

**答** 農村部の公営住宅は入居者が居なくなつた時点で取壊しを予定しているため、経費が高いユニットバスにはしていない。窓枠は補助の対象外となっており、単費での改修を検討する。



農村部の公営住宅

土木費

## 畑地かんがい用水施設の改善は

**問** 近年、降雨の際に水が濁り、取水できないため節水協力があるが、取水口の改善対策が必要ではないのか。

**答** 水道施設と違ってろ過施設がなく、直接ファームポンドに入るため、濁度が落ち着くまで取水制限がされてしまう。現状では、ろ過施設への対応は難しい。



村内のファームポンド

# 税金の使われ方は？

教育費

## 中札内小学校 クラス編成について

**問** 現在2クラスの2年生は、来年進級時には1クラスになるのか。35人学級の継続は検討できないのか。

**答** 1・2年生は、国・道が支援して実施しているが、3年生以上では支援がないため1クラスとなる。学校の管理職や保護者からも不安の声や要望を受けている。  
現在、村が負担して2クラスにする方向で模索調整している。



教育費

## メール配信の活用方法は

**問** 学校でのメール配信は、どのようなときに使用されているのか。また登録状況は。

**答** 不審者情報や臨時休校などの緊急連絡以外に、中学校では部活動の連絡等に活用している。

また、教育委員会からの情報も発信できる。登録者数は、昨年の停電以来、伸びてはいるが100%には至っていない。



教育費

## スポーツの指導者不足の 解消を

**問** 村内には全道や全国、また国際大会などに出場した方がいるが、スポーツの指導者として活動してもらってはどうか。

**答** 今まで培ってきたものを後継者に伝えるために、協力していただける環境になれば、積極的に進めたい。



村内の経験豊かな人材を指導者に

消防費

## 防災対策の強化を

**問** ブラックアウトから1年が経過し、防災意識の継続が難しい中、自助の備えの意識を高める手立てとしての広報の活用は。

**答** 災害はいつ起こるかわからないという意識を強く持ち、防災訓練に参加いただくなど、注意喚起と啓発を進めていきたい。

住民参加の呼びかけをお願いしたい。  
また、啓発の手段として広報の活用を進めたい。



10月9日実施の防災訓練の1コマ

消防費

## ドローンの活用は

**問** 購入したドローン进行操作できる職員はいるのか。また、災害等で利用しているのか。  
**答** 操作の研修は、各課2名以上が受講している。災害での利用はまだないが、村内景観の映像撮影や鹿の行動調査などで活用している。

**提言** ドローンは幅広い活用が見込めることから、性能の高い機種などの導入と活用を進められたい。



様々な活用方法が期待できる

介護

## 給付金の増加について

**問** 在宅介護サービス等給付金の件数は。

**答** 利用者は延べ3323人となるが、件数で算出することはできない。

本会議で決算認定審査の結果、各会計決算は可決し認定されました。

決算質疑の内容が、本年度の事業及び令和2年度予算へ反映され、より良いまちづくりへと発展するよう、議会としても引き続きエック機能を発揮していきます。

# 条例改正

## ◆中札内村印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定

住民基本台帳法施行令等の一部を改正する政令が公布され、「氏」に変更があった者は住民票に「旧氏」の記載を求めることができることとなったことによる条例の一部改正を行うものです。

## ◆中札内村災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定

災害弔慰金の支給等に関する法律の一部を改正する法律が公布され、災害援護資金の貸付を受けた者が置かれている状況等を鑑み、償還金の支払猶予、償還免除の対象範囲の拡大、償還免除の特例、市町村における合議制の機関の設置等についての必要な措置を講ずるため、条例の一部改正を行うものです。

# 補正予算

※主な内容と質疑を掲載します

## 総務管理費

事務賃金 137万4千円

ふるさと納税の大幅な伸びと総務一般事務に対応するための事務賃金を追加するもの。

電子計算費 589万6千円

幼児教育無償化への対応のため、子ども子育て支援システムの改修委託費として追加するもの。

なお、特定財源として同額の道補助金を受けて実施。

## 消防施設費

アスベスト含有調査委託 64万9千円

消防庁舎においてアスベスト含有の可能性があることから調査費を追加するもの。

**問** 過去の調査でアスベストはないと記憶しているが。

**答** 飛散する建物はない。煙突等に利用されている場合はあるが、飛散する構造にはなっていない。

## 環境衛生費

犬・キツネ処分火葬場使用料 44万8千円

**問** 7月末で前年度一年間の捕獲頭数を超える状況だが、今年から駆虫剤の散布が行われているがエキノコックスの感染率は。また、アライグマの捕獲方法は。

**答** 感染率は40%。アライグマは、箱わな10基による捕獲。

**問** キツネ1頭あたりの火葬場使用料は。

**答** 1頭あたり4千円。

## 道の駅関連施設管理費

道の駅花水山前舗装工事 427万9千円

腐食している木道通路を、舗装による修繕を行うため追加するもの。



腐食した部分を板で補修している

## 土地改良事業費

道管農道整備特別対策中島地区負担金 350万円

**問** 道が発注した工事に設計変更が生じたことにより追加するもの。

**答** なお、特定財源として公共施設等整備基金で実施。

**問** 路肩の拡幅工事で以前に施工した部分に段差が付いている。段差がないように施工できないか。

**答** 施工方法など要望を出しながら検証したい。

## 商工観光費

スノーアート事業補助金 350万円

観光協会と民間企業がタイアップして、来年2月中旬に実施するスノーアート事業に対する補助金を追加するもの。



2月15日・16日に開催予定

## 牧場費

大規模草地育成牧場設備設置工事 209万4千円

**問** 牛舎防風カーテン設置工事の設計変更により追加するもの。

**答** なお、特定財源として食と農業農村振興基金200万円を充当し実施。

**問** 防風カーテンは不落札となり、今回補正しているが理由は。

**答** 設置する部分の下の強度が当初設計では不十分で、設計変更を行い、強度を高められたことによるもの。



## 公債費

一時借入金利子 100万3千円

庁舎建設工事の契約時に発生する前払金支払いのため、金融機関から一時的に借入を行う借入金の利子を追加するもの。

# 一般質問

## 鹿による農業被害

北嶋議員 早急な防止対策を

森田村長 ハンター確保と効果的な捕獲を



森田村長  
①栄地区周辺でのエゾシカの一群のように、夏と冬の行動圏の間を毎年規則的に往復す

②関係機関と連携し早期の防止対策を実施  
③将来的変化に対応するための継続的な施策の検証・見直しと着実な実行

北嶋信昭議員  
近年、野生鳥獣の増加や活動圏域の拡大が顕著であり、本村においても農地生活圏で集団行動する鹿が多数確認され、特に栄地区周辺では畑作物の被害や踏付けによる被害が発生するなど農業経営に与える影響は深刻化しています。これら鹿の群れによる被害の軽減を図るため、次のことを要望します。  
①鹿の活動圏域の変化や生息頭数の実体・被害状況の早急な把握  
②関係機関と連携し早期の防止対策を実施  
③将来的変化に対応するための継続的な施策の検証・見直しと着実な実行



行動範囲を把握し早急な防止対策を望む

る移動個体による農業被害は、約2000万円と推計しており、今後も被害の把握に努めます。  
②本村における農業被害防止対策は、農地所有者の自助を基本に、地域での共助、それらを支援する公助として「鳥獣被害防止計画」に基づき対策を進めています。今後も帯広畜産大学や民間団体の協力も得ながら、効果的な捕獲を行います。  
③平成30年度のエゾシカの捕獲計画数に対し、実際の捕獲数は大きく下回っており、適正な水準まで生息数を減らせていません。その要因としてハンターの確保が大きな課題であり、他町村の取組などを参考に研究していきます。

# 一般質問

## 道の駅 なかさつない

中西議員 今後の整備計画は

森田村長 ハード面・ソフト面のさらなる充実



森田村長  
①入込客数は約49万人で前年同期比、4%増となり、各テナントの販売額も前年同期比、2.5%増となっています。フードコートのテナント会とも協力し、顧客の確保や新商品の開発販売に努めています。  
②駐車場については、満車状態の土・日曜日、イベント開催時は、大型車専用駐車場の開放と第2駐車場の運用で対応し、当面新たな拡張は行わ

中西千尋議員  
道の駅なかさつないの現状とさらなる魅力アップへの取組について、次のことを伺います。  
①今年8月末までの入込客数と昨年比  
②新駐車場整備の考え方  
③カントリープラザ内多目的室（展示場）の利用方法と利用頻度、内部改装計画



多目的室の新たな活用に期待

ず対応していきます。  
③利用状況については、指定管理者である観光協会主催の絵画展や写真展などで、昨年度は11回、延べ312日間、展覧会が開催されています。また、冬期間の来場者数増と多目的室の新たな活用方法を検討中です。  
今後の内部改修等に関しては「道の駅魅力向上アクションプラン」に沿い、国の政策の子育て応援施設を整備しながら、ハード面だけでなく、さらなるソフト面の充実を図りながら魅力向上に努めていきます。

# 一般質問



船田幸一議員

船田議員 地域振興策の考え方は

森田村長 地域のみなさんと共に取組む

## 上札内市街地

上札内には、中札内発祥の地として、駅通所の記録や歴史を伝える場所があるのか。交流館や小学校などでの展示紹介や伝承への取組みはされているのか。また、上札内の保育所園児、小学校児童の過去5年間の通所、通学数と今後の推移の見通しはどうか。地域との協議の経過や振興策などを含め、村の方針を伺います。

森田村長

駅通所の記録や歴史を伝える場所はありませんが、小学3・4年生の社会科副読本や地域の歴史に詳しい方が講師を務め、郷土文化の「石見神楽」の由来などを学び、校舎内で古い生活用具などを展示し、歴史を伝える取組みを行っています。

上札内保育園児は、平成26

年12人、27年12人、28年9人、29年8人、30年7人、今年が4人、令和2年1人、3年以降は現段階で入園の見込みはありません。

上札内小学校児童は、平成26年14人、27年17人、28年18人、29年14人、30年14人、今年が17人で、令和2年16人、3年11人、4年11人、5年9人、6年8人の見込みです。今後の教育環境については10月中旬までに意見交換を行う予定です。

上札内地域の振興は、村全体の活力維持にも結びつく課題であり、教育環境の在り方や高齢者などへの支援策について、地域のみなさんと共に取組んでいきます。



上札内市街地

# 一般質問

船田幸一議員

過去繰り返された定数削減やその時代背景の過程で、幾度となく議論され、現在に至っている認識していますが、その経過の中で時々首長自ら果敢とした水面下での尽力が、定数不足の一部を解消してきたと伝えられています。

村議会議員定数不足の今後の解消に向け、議員経験者でもあります森田村長の見解を伺います。

森田村長

本村は、本年4月の統一地方選挙で定数8名のところ1名の欠員となり、十勝では唯一、北海道では本村を含めた4町村、全国では8町村で定数割れとなる事態になりました。

このことを受け、まちづくりの重要性に関する理解促進を含め、村民との情報共有の面で努力が十分でなかったと認識しました。

「まちづくり基本条例」を見つめ直す必要を感じています。

一人でも多くの村民に参画



村議会議場

していただく機会の提供に努め、議会と連携してまちづくりや政治の担い手の掘り起こしと育成に取り組んでいきます。



## 議員の定数不足

船田議員 解消に向けての見解は

森田村長 議会と連携し担い手を育成

## 電子母子手帳 (スマートフォンアプリ)

宮部議員 導入の検討は

森田村長 総合的な視点で判断



森田村長

情報通信技術の発展により、ライフスタイルは大きく変化しつつあり、本村においても電子母子手帳には一定のメリットがあるものと考えますが、確実に電子母子手帳を機能す

わが国の母子手帳は、海外でも高く評価されているところですが、スマートフォンアプリの電子母子手帳を導入し、予防接種の実施の周知等にも活用するなど、情報提供のツールとして利用する自治体も出てきています。  
アプリの内容にはいくつかあるようですが、それらの情報はすでに入手し検討されているのか。今後、村としても子育て支援の一環として、電子母子手帳を導入する考えはないのか伺います。

宮部修一議員

わが国の母子手帳は、海外でも高く評価されているところですが、スマートフォンアプリの電子母子手帳を導入し、



利用者の利便性など十分に検討を

るには、記録や健診データ、予防接種データなど、利用者自身が子どもの成長記録を、その都度アプリに入力しなければなりません。  
利用者の利便性が十分に検証しきれない面がありまますので、メーカーごとに異なる機能や使い勝手などを比較検討し、利用者ニーズを第一義とし、費用対効果や事務処理等の効率化を含めた総合的な視点で、導入の可否について考えていきます。

### 意見書

#### ◆林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

人工林資源が本格的な利用期を迎える中、既存の制度や森林環境譲与税を活用した地域特性に応じた森林整備の着実な推進や、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化の実現に向けて施策の充実・強化を図るため、次の措置を講ずるよう強く要望する。

- 1 森林の多目的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化のため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。
- 2 森林整備事業の都道府県・市町村負担分の起債を可能とする地方債の特例措置を継続すること。
- 3 森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を図るため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材加工・流通、利用までの一体的な取り組みや森林づくりを担う林業事業者や人材の育成に必要な支援措置の充実・強化を図ること。

提出者 宮部修一 賛成者 北嶋信昭

一意見書は採択となり、関係大臣並びに関係機関に提出しました。一

### 各種委員会の委員

◆中札内村教育委員会委員

濱本 晴美 氏

の任命に同意しました。

※一般質問の詳細については、村ホームページで公開している会議録または議会中継を参照ください。

### 議会用語豆知識 ④



### 意見書 とは？

市民の生活や村の公益に関する重要な問題について、議会の意思として意見をまとめた文書のこと。意見書は「公益に関する」ことである限り法律上、内容の制限はありません。

議会は国または道など関係行政庁に対し意見書を提出する権限があります。

## 村内農作物作況調査

実施日 9月6日(金)  
場所 村内圃場4カ所  
調査の内容

村農業委員会との合同により、主要作物の作況調査を実施しました。  
大豆・小豆などの豆類は、開花期に高温障害が出ており、特に小豆の収量は平年を大きく下回る見込みで、小麦は7月下旬以降は記録的な高温となり、収穫作業は短期間で終了し、収量は平年を上回りました。

馬鈴しよは収量で平成29年を上回る予想ですが、澱粉価は若干少ないと予想。  
てん菜は順調に生育し、平年を上回り、過去最高の収量が見込める状況でした。



作況調査の様子

## 次の定例会は12月です

主な内容は、一般質問と議案審議です。

村民みなさんの傍聴をお待ちしています。

また、インターネットによる議会中継を実施しています。

### ～お知らせ～

議会中継はYouTubeで配信しています。

村のホームページ内の  議会中継 ボタンをクリック、『議会中継』のページから YouTube中札内村議会公式チャンネルにアクセスできます。

## 訂正して お詫び申し上げます

令和元年8月1日発行の「議会だより第155号」の3ページ、補正予算の体育施設管理費・委託料・工事請負費他の288万3千円は、修繕料37万8千円の誤りでした。  
訂正してお詫び申し上げます。

## みなさんの声を届けてください

今年4月の統一地方選挙で、中札内村議会は残念ながら定数割れという結果となってしまいました。

全国的に議員のなり手不足が大きな問題となっており、様々な取組みが行われています。

村議会としても結果を重く受止め、議員の意識調査を行い、議会の活性化に向けた議論をスタートさせました。活性化は簡単ではありませんが、村民のみなさんと議会とが協働して村づくりを進めるための方法を考えたいと思います。

みなさんからの議会に対するご意見、ご要望をお寄せください。

— 連絡先 —

中札内村議会事務局（役場2階）

電話 0155-67-2497

FAX 0155-68-3911

Eメール

g-gikai@vill.nakasatsunai.hokkaido.jp

## 編集後記

すっかりジャケットを羽織り、今日も気合いを入れ、外に出る。

朝のウォーキングを始めてから3カ月余り、歩くのがこんなにも清々しいものなのかと感じる。深まる秋の景色、空、空気、木々の変化を楽しみながら…。

少し前までウォーキングなど無縁だった。3月に仕事を辞め、朝出勤しなくなり余裕ができたせいかな。

そしてウォーキングを後押ししてくれたものは、やはり活動量計だ。何歩歩いたか、毎日確認できるのがいい。さらに「あなたも？私も持つてるよ」と活動量計でつながる仲間意識がまたいい！行政の方々ありがとうございます！

さて、冬は寒さとの戦い。一体どうなるでしょうか。  
(大和田)